

## その2 ウサビのひとり収穫祭

### その2 ウサビのひとり収穫祭

りんご品評会の金賞受賞者・鈴木さんの畑に取材へ向かったウサビ。

りんご農家がそっと教える、おいしいりんごの見分け方とは？



鈴木さん 「そこまで難しいもんじゃないよ。ほら、全体的に赤くて、重さがずっしりしているものなんだ。」

ウサビ 「じゃあ大きい実の方がいいの？」

鈴木さん 「いや、必ずしも大きい方がいいわけじゃない。手のひらにのせてちょうどこのくらい(写真 参照)がいいくらいかな。大きくなりすぎたものより、実がしまってるほうがいいんだ。そしてなにより…」

ウサビ 「何より？」

鈴木さん 「いいりんごは、この下の部分にうっすら蜜がたまって、光沢がでるんだ。」



鈴木さんがいわく、おいしい実の蜜が下の方(指差している部分)にたまるらしい

確かに、うっすらとニスを塗ったような光沢ある厚みがみられる。

ウサヒ「おお、蜜入りリンゴ！！」

鈴木さん「うーん、蜜入りリンゴっていうのは実の中央に蜜がたまっているものを言うから、本当にこのリンゴが『蜜入りリンゴ』かどうかは切ってみないとわからないけどね」

ウサヒ「ん？じゃあ、蜜入りリンゴかどうか見分ける方法はないんですか？」

鈴木さん「実を言うとなんか。まあ、実の下部に蜜がたまるほどの実はたいてい中央にも蜜はたまってるけどね。」

ウサヒ「それだと、ときどきハズレもあるってことなんだね。」

鈴木さん「ああ、そのことなんだけど、リンゴ農家としていうならば、『蜜入り』っていうのは見た目の問題で、味に関して言えばそれほど大差がないんだよ。」

ウサヒ「????」



光に透かして「蜜入り状態」を見極めようとするウサビ。

しかし、鈴木さんは蜜入りかどうかはそれほど重要ではないという。

鈴木さん 「蜜入りっていうのは、蜜が中心部分に集まっている状態。そうでないものは蜜が実全体に広がった状態。ということはつまり…」

ウサビ 「あ、同じ蜜の量だとしたら、蜜が偏ってるか全体に広がってるかの違いだけなんだ。」

鈴木さん 「そう、あくまでも同じくらい蜜の量があればの話になってしまうけど、さっき言った条件を満たしていればたいていは、たっぷりと蜜が入っていると見えるよ。」

ウサビ 「というか、もしかしたら全体的に蜜が広がっているリンゴの方がおいしいのでは…??」

鈴木さん 「ま、その辺はお客様の好き好きということで。」



周辺の木から良いリンゴを次々と見つけていく鈴木さん

ウサビ 「知らなかった…蜜が真ん中にあるとおいしいものだとばかり…」

鈴木さん 「そう思われてるお客様は多いみたいだね。実際、蜜が入っていないぞ！ってクレームの電話うけたこともあるよ。蜜入りならもちろんおいしいし、蜜が集まってなくても同じくらいおいしいんだけどね。」

ウサビ 「逆に、鈴木さんとしてはリンゴのどこを見て欲しいですか？」



しげしげとリンゴを眺めながら尋ねるウサヒ

鈴木さん 「リンゴ全体の赤さかな？下まできれいに赤くするために、剪定作業や、実を回して全体に日光をかけるようにしたりと、リンゴ農家が一番力をいれている部分なんだ！」

ウサヒ 「下まで赤くするなんてすごいですよね。」

鈴木さん 「下を赤くするために、反射シート(白や銀のシート)を地面において日光を反射させているんだ。リンゴの赤さと甘さはおひさまの力の結晶なんだ。」

ウサヒ 「そして、鈴木さんたちリンゴ農家さんの知恵と技術も結晶でもあるという！」



ちょっといい感じのことを言って満足げな二人

ウサヒ 「じゃあ、今の注意点をふまえて、ボクがおいしいリンゴをさがしてみるね！」

そういってリンゴ畑をひとり散策し始めたウサヒ



見よ！この軽快な動き



そして、収穫に対する貪欲な姿勢



良いものを探すには

時として正体がばれることもじさない



ウサビ 「とりあえずこんだけ獲れば1個ぐらいはあたりがあるだろう・・・」

この辺のアバウトさは産業振興課で学んでいる



鈴木さん 「すげえ量を収穫したんだな？」

ウサヒ 「なるべく赤くて重いのにしてみました。」

鈴木さんの奥様 「じゃあ、さっそく食べてみましょう！」

とって、奥さんが手際よくリンゴをむいてくださいました。





半端ではない蜜の量！！



うまうま…いや、すげえうまい。

獲れたてを畑で食べられるって最高の幸せかも知れません。



中の人も大満足

ウサビ「本当においしいです。ところで鈴木さん、金賞受賞のことについていくつか伺いたいことが…」

鈴木さん「ん？べつにいいけど、せっかくだからうちに来る？」

受賞の秘訣を聞こうと思ったら、なんとおうちにご招待していただけることに（テレビ番組みたいだ…）

ということで、次は鈴木さん宅へと向かいます！！

続く